

授 業 科 目 名 (英語名称)		必修の区分	単 位 数	開 講 年 次
環境文献購読 (The Green Reader)		選択	2	3-4
講 師 名	所 属	オフィスアワー・場所		連 絡 先
岡田真美子	環境人間学部	火曜 11.00-12.30 E303		okada-hisyo@shse.u-hyogo.ac.jp
講義目的	古典的および現代の環境関連文献を取り上げて購読することによって、批判的かつ論理的に読む力をつけ、環境思想研究への入門とする。			
講義内容 授業計画	1	10/05	プロローグ：演習のねらいと進め方 分担決定	
	2	10/12	『沈黙の春』 Rachel Carson(1965), <i>Silent Spring</i> , Penguin	
	3	10/19	『野生のうたが聞こえる』 Aldo Leopold(1949), <i>A Sand Country Almanac</i>	
	4	10/26	『スモールイズビューティフル』 E. F. Schumacher(1974), Small is Beautiful	
	5	11/02	『スモール イズ ビューティフル再論』 E. F. Schumacher(1997), This I Believe	
	6	11/09	『生物から見た世界』 Jakob von UEXKÜLL(1956), Streifzuege durch die Umwelten von Tieren und Menschen	
	7	11/16	金森 修(2000)「エコウォーズ」『サイエンス・ウォーズ』	
	8	11/30	『プラン B』 Lester R. Brown(2003), Plan B	
	9	12/07	『地球文明の未来学』 W. Sachs(1999), Planet Dialectics	
	10	12/14	桑子敏雄(1999)『環境の哲学』	
	11	01/11	葉室頼昭(1999)『神道 見えないものの力』	
	12	01/18	岡田真美子(2006)「環境の時代における死」『思想の身体』	
	13	01/25	『センス オブ ワンダー』 Rachel Carson, Sense of Wonder	
	14	試験日	エピローグ：ワークショップ	
テキスト	教科書は使わない。			
参考文献	文献は講義の最初に指示する			
成績評価 の基準	担当回を決めて行う報告とその際提出するレポートによって評価する。 講義への参加状況も場合によって考慮する			
履修上の 注意 履修要件	毎時間コミュニケーションカードを配布回収し、次回返却する。このカードとレジュメはきちんとファイルしてゆくこと。(◎最終回にファイリングしたものを持参してもらい、これを用いてワークショップをする)			
備 考	質問届けその他はメールで提出すること。 件名：2006 環境購読文献 (学籍番号)			

☐ レポート

課題の図書および関連文献を読んで以下の内容をまとめる。

複数で担当するときは、分担が明らかになるように署名入りで書く。

著編者名：

書名：

発行所：

発行年：

1. 著者紹介（専門、略歴、他の人からの評価）
2. 本が書かれたきっかけ
3. 全体の内容紹介（全体のテーマと章ごとの内容、ねらい）
4. 強く印象に残ったところ、他のメンバーに紹介したいと思ったこと

☐ 担当日に発表

その際、4で選んだ箇所を合わせて受講生への輪読用配布資料を作成し、講義前々日の正午までに E301 山田伊津香さんに届けてコピーを依頼する。